

令和3年度 第4回 防災委員会 議事録

場 所： 建築士会 会議室 (Web 会議併開)

日 時： 令和3年10月12日 (火) 午後6時～8時

出席者： 防災委員会：東・相磯・内田・折笠・河原・有泉 (小檜山・高橋・相馬・栗飯原・渡邊)

事務局：小島

議事録作成者 河原

() 内は欠席

■18:00～20:00

通 常 委 員 会

□ 委員長挨拶

- ・ 9月10日 (金) 令和3年度第1回災害時相談体制検討会 建設会館4階会議室 WEB 併用
災害時住宅相談体制整備説明会 12月中旬開催予定、相談員相談員募集チラシの作成
次回検討会開催 10月25日 (月)

⇒ 検討会議事録を参照しながら、得意分野を活かした[相談体制]、[説明会の開催]の仕方、チラシを案内

- ・ 9月16日 (木) 神奈川県大規模災害対策土業連絡協議会 令和3年度第2回会議開催
今年度委員会開催予定 12月22日 (水)、3月18日 (金)

⇒ 関東弁護士会連合会の防災士でもある永野弁護士の「災害時の被災者支援制度」セミナー資料紹介

- ・ 9月22日 (水) 活性化委員会宛防災委員会委員長・委員推薦提出 (別紙参照)

⇒ 活性化委員会ルールに従い、現委員長継続ではなく、新委員長を推薦

- ・ 9月25日 (土) 全建女福岡大会分科会 WEB 参加

3-1 「被災した古民家を再生したまちづくり」熊本県益城町 (補助金活用した民泊やカフェの事例)

3-2 「高齢社会とまちづくり」秋田県北秋田市 (地道な地域活動の事例・成果)

- ・ 9月27日 (月) 第379回理事会開催

建築士会全国大会広島大会の中止決定 表彰及びセッションについては東京での代替開催を検討
来年全国大会開催地秋田県/新規会員8名 正会員数：2434名

- ・ 9月30日 (木) 14:00 から 16:30 防災塾だるま×神奈川大学連携講座 河原, 東参加

<以下のセミナー内容を紹介>

(1)近代の自然災害から目指す防災まちづくり (荏本氏)

(2)災害時でも自宅で10日以上生活するためのノウハウ (釜石氏)

(3)自然災害プラス社会現象によって激甚化する災害の「縮災」「防災」の必要性 (河田氏)

(4)発災から1時間以内の救出を目指す～災害時に機能する自主防災組織～ (原田 剛)

(5)被災地で現実に起きていること～被災地の現実に学ぶ防災まちづくり～ (高松 清美)

(6)女性視点の避難所運営～東日本大震災における支援活動から～ (五十嵐ゆかり)

(7)自助・共助・公助の統合をめざして

～住民、学校、地域の多様な組織が連携・参画する防災まちづくり～ (鷺山龍太郎)

□ 議題

1. 前回議事録 (8月3日 Web 会議併用)
2. R3. 2. 26「台風19号被害から防災を考える」オンラインセミナーの短縮版の紹介 河原各支部の会議や活動の際に、上記セミナーのWEB開催企画についての提案

3. 年間スケジュール

【浸水被害対策の資料の作成】

<方向性の説明>

「風雨災害マニュアル作成グループ」でミーティング、準備をして、委員会で協議をして作成。

【1】から【4】の作業を分担

【1】「震災がつなぐ全国ネットワーク」に引用、マニュアル記載について事前相談・許可

【2】各自「水害にあった時に2021.07」を読んで、建築士として知っておくべきと思う項目を抜粋

→「水害にあった時に」目次の「3. 家屋の片づけ塗装時」の章を、実体験の写真を入れ替えながら資料作成

【3】R2. 3 被災地住宅支援マニュアル (20200428 修正) P55

「主な平成の大災害 私たち建築士は、決して忘れない!!」の拡充⇒「令和の災害」を追記

【4】R3. 2. 26「台風19号被害から防災を考える」オンラインセミナー

浸水・復旧体験報告内容から必要と思われる「項目」を抜粋

⇒ ※災害時の行政要請については、各行政（横浜市、川崎市、相模原市など）窓口により異なるため、災害時の協力体制について、再確認が必要。（折笠さん）

※災害時は、各行政・士会の出動要請や指示が必要であるため、神奈川県建築士会として、関係省庁の協力・連携をとる必要があります。

●次回12月7日通常委員会までの間に、「風雨災害マニュアル作成グループ」ミーティング、あるいは臨時委員会を設定させていただく可能性があります。

【キャラバン隊今年度登録確認】

支部状況の確認

【応急危険度判定士の整理】

H30実績：神奈川県登録者数10,990名（建築士会：1,103名、事務所協会：865名、JIA神奈川：81名）

1,103名にアンケート送付/回収130名 内参加可能99名、参加できない24名、不明7名

整理中

⇒ ※50～70歳の会員が多く、実際に参加可能な若い判定士会員確保も必要。

※建築士会、事務所協会、横浜・川崎市、県央地区各市の連携が必要（現時点では連携填未体制）。

4. 支部報告

県央支部 9/2支部マニュアル説明会開催/新規防災委員として中山裕次さん(愛川町)令和4年度委員了承済

□ 次回の委員会の予定 ・令和 3年 12月 7日 (火) 場 所 建築士会会議室及びWEB 会議 18時より